

# 岩津ねぎだより

平成 29 年 7 月 20 日  
岩津ねぎ産地協議会  
生産支援チーム

## ①疫病が発生しています。防除しましょう。

7月上旬は気温が高まり、降水量も多かったため、湿害（酸欠）に起因した障害や**疫病**が発生しています。ねぎの良好な生育のために、本田の排水対策と**防除**をしましょう。



### ○疫病の特徴

葉の中位や葉先に黄白色の不整形な病斑を生じて、葉枯れ症状になります。

病斑部と健全部との境界は淡緑色を示

し。田畔です。多肥や降雨が連続すると



## ②疫病の防除



疫病は、土壌伝染、水媒伝染しますので、多湿地・停滞水があると広がりやすくなります。まず、発病株や葉を除去し持ち出して処分しましょう。次に、下記を参考に防除してください。詳しくは、窓口にお問合せください。

### 疫病に効果の有る薬剤

薬剤名	適用病害	使用量	使用時期等	使用回数
アリエッティ水和剤	疫病 べと病	800倍 100～300ℓ/10a	収穫3日前まで	3回以内

注意) 農薬はラベルの使用基準・注意書をよく読んでご使用ください。

## ③排水対策



このように、「捨て溝」を設置すると、ねぎの生育が良くなり



### <問合せ窓口>

和田山営農生活センター : 672-4800  
山東営農生活センター : 670-7744  
朝来営農生活センター : 670-4341  
朝来農業改良普及センター : 672-6886